

子供の安全
女性の安心
そして
実戦危機管理

あんしんネットワーク

安心安全

International safe safety society

協会報

平成28年秋号
(2016)
第4巻第3号
発行
(内閣府認証 府国生第947号)
特定非営利活動法人
国際安心安全協会
編集発行人
薮崎 英源
〒160-0023 東京都新宿区
西新宿3-17-7 西新宿TOKビル
Tel. 03-5371-0456
ホームページ
<http://www.iss-anshin.jp>



阿波おどりの夜のパトロール。上の「区役所連」では区長も踊りに参加

安心安全ホットライン

当協会では、「子供の安全・女性の安心」つまり、身の回りのさまざまな安心安全対策、そして「実戦的危機管理」つまり、職場や地域社会におけるリスクマネジメント、防犯・安全確保などに関して、警察OB等、経験豊かな会員・指導員がアドバイス、支援を行っています。

まず、ご相談ください。

安心安全ホットライン
e-mail : isa@celery.ocn.ne.jp
Tel : 03-5371-0456
Fax : 03-3375-3301

国際安心安全協会

当協会は、安心安全な生活・環境は、それを求める一人一人の取り組みと、同じ志をもつ人びとの連携、ネットワークがなければ実現しないとの考え方にもとづき、自ら防犯・安全対策に取り組むとともに、安心安全を追求する国内外の人びとの交流と相互支援を進め、家庭、地域社会、ビジネスの世界など、あらゆるシーンで安心安全を実現することを目的に活動しているNPO法人です。

みなさんの積極的な参加をお待ちしています。

城北支部（東京都豊島区）の設立の報告をします。すでに3年前から、巣鴨・大塚で熱心に安心安全パトロールを行っているみなさんが立ち上げた支部です。（1面）

また、川崎支部、山口県支部、そして世田谷・三軒茶屋のパトロール隊の近況と、その活動の一部の報告をします。（2・3面）

まだ記憶に新しいリオ五輪において、相馬英樹支部長の孫弟子が柔道女子48キロ級で見事に金メダルを獲得しました。柔道普及のために海を渡って45年、相馬支部長の悲願達成の瞬間でした。その報告をします。（4面）

「阿波おどり」の夜も巡回

トロールでした。

歴史ある夏のイベントで開会式には小池百合子新

た。一方、パトロールは、踊

りに参加しない9人のメン

バーによって行われました。

9月12日、当協会顧問の岡本吉司さんがぼうこうが

9月12日、当協会顧問の

9月12日、当協会顧問の</

南米支部長の孫弟子

女子柔道48kg級

リオ五輪で金メダル獲得

リオデジャネイロ・オリ
ンピック開幕の翌日（8月
7日）、協会本部に国際電
話が入りました。南米支部
（アルゼンチン）の相馬英
樹支部長からでした。

孫弟子のパウラ・パレト
選手（30歳）が、ついに柔
道女子48キロ級で金メダル
を取ったという報告でした。
男女通じて初のアルゼンチ
ン柔道の金メダルです。

45年前に柔道指導でアル
ゼンチンに渡った相馬さん
の悲願がかなった瞬間で、
電話でも興奮を抑え切れな
い様子でした。

●警視庁辞め、海を渡る
相馬さん（1943年青
森県生まれ）は、警視庁に
入庁後、1969年に日本
青年海外協力隊の柔道
指導員としてカンボジア

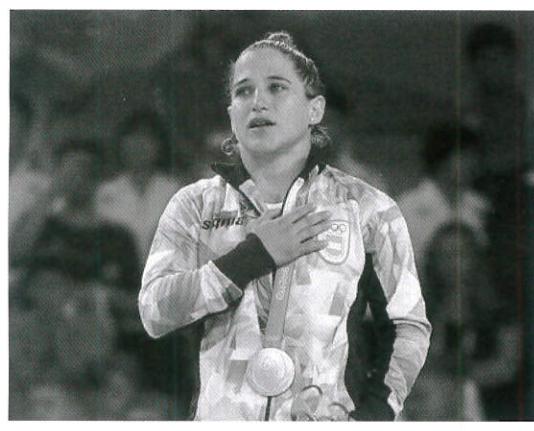
金メダルに輝いたパレト選手。
準決勝では近藤健闘を下した
（下）



- ①身軽で活動的、そして目立つ服装で行うこと。
- ②靴はスニーカーなど（被災地では安全靴なども）。
- ③当協会ベストの配布を受けている場合必ず着用（ない場合は目立つ格好で腕章タスキなど）。
- ④持ちもの（携行するもの）を用意。
- ⑤携帯電話（スマホ）――番やメンバー間連絡。
- ⑥メモ・筆記具――危険箇所、不審人物などをメモ。

- ①無理せず、継続できる範囲で活動。
- ②メンバー自身が法規、ルールをしっかりと守り、全員の安全を十分に配慮しながら取り組む。
- ③定期的にパトロールの効果を検証。実施コース・時間の見直し、追加なども行っていく。
- ④まちの変化についても注意を払い、気づいた点はパトロールにも活かす。
- ⑤パトロールで知った他人のプライバシーは漏らさない（撮影や写真の扱いにも十分注意）。
- ⑥まちの変化についても注意を払い、気づいた点はパトロールにも活かす。
- ⑦重要なことは、自分たちのまち・コミュニティの安心安全は自ら守る、みんなが安心安全に暮らせるまち・地域社会にしていく――というメンバー一人ひとりの決意

安心安全



に派遣され（警察庁出向）、
1971年にはアルゼンチ
ン柔道連盟の招聘で警視庁
を辞めて専任コーチとして
同国に渡りました。

リオでは、準決勝で日本
の近藤亜美、決勝で韓国の
チヨン・ボギョンを破り、
アルゼンチンに金メダル第
1号をもたらし、同国サ
ッカーの英雄、メッシ選
手などもフェイスブックで
絶賛していました。

準決勝で敗れた近藤選手
（21歳）は、控室でパレト
選手のコーチに「メダルを
取ると取らないのとでは
全然違う」と励まされ、ス
イッチを入れ直して3位決
定戦に臨み、モンゴル選手
を破って銅メダルを獲得、
リオ五輪の日本勢第1号メ
ダリストになつたと報道さ
れました。

相馬さんは、警視庁に
事務（写真は施術着姿）。
アイレスで健康堂相馬治療
院を開設、鍼灸治療にも従
事（写真は施術着姿）。
長年にわたる柔道の指
導・普及による日本とアル
ゼンチンの技術を活かしてブエノス
アイレスで健康堂相馬治療
院を開設、鍼灸治療にも従
事（写真は施術着姿）。
長年にわたる柔道の指
導員としてカンボジア

- ①原則として2人以上、できれば3～5人ぐらいを1チーム（グループ、班）として編成する。
- ②個々のチームのリーダーやメンバーの役割（写真・記録担当など）も決めておく。
- ③パトロール隊の服装・準備

- ①無理せず、継続できる範囲で活動。
- ②メンバー自身が法規、ルールをしっかりと守り、全員の安全を十分に配慮しながら取り組む。
- ③定期的にパトロールの効果を検証。実施コース・時間の見直し、追加なども行っていく。
- ④まちの変化についても注意を払い、気づいた点はパトロールにも活かす。
- ⑤パトロールで知った他人のプライバシーは漏らさない（撮影や写真の扱いにも十分注意）。
- ⑥まちの変化についても注意を払い、気づいた点はパトロールにも活かす。
- ⑦重要なことは、自分たちのまち・コミュニティの安心安全は自ら守る、みんなが安心安全に暮らせるまち・地域社会にしていく――というメンバー一人ひとりの決意

「安心安全パトロール隊」編成・実施要領

NPO法人国際安心安全協会

1 安心安全パトロールの目的

私たち安心安全なまちづくりのために「自分たちのまちを自分たちで守ろう」との自主防犯意識をもつて、地域の人々とともに、ボランティアとして、自主的に、無理なく、できる範囲で、パトロールを実施していきます。

2 パトロール隊の立ち上げ

- ①メンバーを集める。

・地域・職場・諸団体などでパトロールに参加できる人を募ります（年齢性別問わず）。未成年者がパトロールをする際は必ず複数の成人が加わる）。

・責任者・まとめ役（リーダー）などを決める。

・協力団体会員となり、本部（支部）に報告して、「安心安全ベスト」の支給などを受けます（パトロール隊の立ち上げ後の入会や提携でも可）。

・当協会の「安心安全パトロール隊」として活動しますが、名称（愛称）や計画などは独自に決めます（支部所属の場合、支部との調整も）。

3 パトロール計画

- ①目的・重点目標などを確認し共通認識のもとに計画を策定する。

②実施区域（コース）、時間帯などを決める。

・1回1時間程度で歩いて回れる範囲に（小学校の学区などが一つの目安）。

・メンバーや増えたら複数のパトロール隊（グループ）に編成し、活動区域、回数などを増やします。

4 パトロール隊の編成

- ①原則として2人以上、できれば3～5人ぐらいを1チーム（グループ、班）として編成する。
- ②個々のチームのリーダーやメンバーの役割（写真・記録担当など）も決めておく。

5 パトロール隊の服装・準備

- ①身軽で活動的、そして目立つ服装で行うこと。

- ②靴はスニーカーなど（被災地では安全靴なども）。

- ③当協会ベストの配布を受けている場合必ず着用（ない場合は目立つ格好で腕章タスキなど）。

- ④持ちもの（携行するもの）を用意。

- ⑤携帯電話（スマホ）――番やメンバー間連絡。

- ⑥メモ・筆記具――危険箇所、不審人物などをメモ。

6 パトロールの実施

- ①原則徒歩で行う。交通事故には十分気を付ける。

- ②出会った人には積極的に「声かけ・あいさつ」をして、パトロール中であることをアピールする。

- ③夜間パトロールでは、拍子木を鳴らして、パトロールをしていることを周囲に知らせる。

- ④犯罪、不審者などを目撃したら、すぐ110番！

- ⑤事故や不審者・車両、放置自転車、危険箇所など、気づいた点があればメモや撮影。

- ⑥終了後、日誌に「日時」「天候」「参加者」「コース」「記者会見の結果（不審者・車両の有無、気づいた点、今後の注意点）などを記入。

7 記録と検討

提携・協力団体

- 特定非営利活動法人 ヒューマニティー
- 特定非営利活動法人 マナ・アテンド・サービス
- 特定非営利活動法人 全国マンハンド・ネットワーク
- 特定非営利活動法人 中部日本プロアマ振興会
- 特定非営利活動法人 愛のポイント協会
- 特定非営利活動法人 東京都マザーズライフサポートセンター（寺子屋FIT）
- 特定非営利活動法人 環境工学研究所
- 特定非営利活動法人 トレフルクラブ
- 特定非営利活動法人 サクラエフ奉仕団

南米支部（相馬英樹支部長）
アルゼンチン国ブエノスアイレス市
リハバダビア街4509番2階36室
TEL&FAX：5411-4983-8766 (8492)

安心安全ネットワーク

国際安心安全協会・本部支部一覧

本部

〒160-0023
東京都新宿区西新宿3-17-7 西新宿TOKビル
TEL：03-5371-0456

愛知県支部（服部政雄理事・支部長）
〒468-0044

名古屋市天白区笠原町701番地
TEL：052-896-1425

新潟県支部（猪又勝理事・支部長）
〒950-0944

新潟市中央区愛宕1-4-7
TEL：025-280-0887

大阪支部（小野千賀子理事・支部長）
〒540-0012

大阪市中央区谷町1丁目3番12号 天満橋リーブル6F
TEL：06-6947-7670

東京支部（藤田進一支部長）

〒140-0011
品川区東大井5-14-16 糸谷ビル402
TEL：03-5769-0535

山口県支部（宇都宮陽一支部長）
〒745-0816
周南市遠石3-5-26-2B
TEL：0834-33-9824

川崎支部（横田正弘支部長）
〒213-0027
神奈川県川崎市高津区野川3796-2
TEL&FAX：044-777-7389

城北支部（飯部光一支部長）
〒170-0005
東京都豊島区南大塚3-45-6
TEL：03-5952-1130